

令和三年天皇陛下お誕生日を記念してサモア国民に送る本使メッセージ

令和3年2月22日午後（於大使館 記者会見で読み上げ）

本年2月23日、日本国天皇陛下は、61回目の御生誕の日を迎えられます。私は、日本国大使として、サモア独立国の国民の皆様と共に、この日を祝う筈でありました。他方、世界では未だ新型コロナウイルスの事態が終息するに至っておらず、犠牲者も増え続けており、世界中の保健従事者が休むことなく、この病と闘っておられます。サモアにおいても、依然、新型コロナウイルスに対する緊急事態措置が続いています。そこで、私は、今年、祝賀レセプションに代えて、国民の皆様に対し、太平洋島嶼国に向けた我が国のコロナ対策支援を中心とする取り組みと、太平洋島嶼国との協力についてご紹介することにより、「日本はサモアの皆さんと共にある」とのメッセージをお送りすることとしました。

先ず、太平洋島嶼国の国民の命を脅かす新型コロナへの対応について申し上げます。新型コロナの世界的な感染拡大、「人間の安全保障」の危機に対応していくためには、国際的な調整・協力が不可欠です。新型コロナを1日も早く終息させ、次なる危機にも備えるため、日本は、太平洋島嶼国や途上国の保健・医療システムの強化に積極的に貢献していきます。また、「誰の健康も取り残さない」との考えの下、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを推進するため、途上国を含めたワクチンへの公平なアクセスの確保を全面的に支援します。

これらの努力の一環として、日本は、昨年10月、太平洋島嶼国や他の途上国が新型コロナウイルス感染症のワクチンに公平にアクセスできるよう、COVAX ファシリティの「ワクチン事前買取制度（AMC）」に1.3億ドル以上を拠出することを表明しました。今回、COVAX ファシリティが稼働し、サモアにもいよいよワクチンが配布される見通しがつき、うれしい限りです。

次に、日本のサモアや他の太平洋島嶼国との協力について紹介したいと思います。

日本と太平洋島嶼国は、非常に重要な長年のパートナーであり、太平洋を共有し、共通の課題に取り組んでいます。このパートナーシップをさらに強化するために、日本は1997年から3年ごとに太平洋・島サミット（PALM）と呼ばれる首脳レベルの会議を主催しています。日本と太平洋島嶼国は、PALMを通じて緊密な協力関係を築き、友情の絆を築いてきました。サモアのトゥイラエパ首相は、第1回太平洋・島サミット（PALM1）以来、毎回参加している唯一の指導者であり、2018年に第8回太平洋・島サミット（PALM8）が福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズにおいて開催された際には、安倍総理（当時）と共に、共同議長を勤めました。そして、今年、第9回太平洋・島サミット（PALM9）が日本の三重県で開催される予定であり、19カ国・地域の首脳等が一堂に会し、気候変動や自然災害と共に、新型コロナウイルス事態等の喫緊の重要課題について議論する予定です。

このPALM9に向けた準備会合として、昨年10月20日に「太平洋・島サミット中間閣僚会合」（テレビ会議形式）が開催され、活発な議論が行われました。この会合に参加した各国の閣僚は、新型コロナウイルス感染症の流行による健康、社会及び経済への壊滅的な影響及びその対応と復興に向けた地域における及び多国間の協力の重要性を認識しました。

この会議では、日本は、PIF島嶼国のニーズに応え、40億円相当の医療機材及び5億8千万円相当の技術支援及び保健医療物資の供与を含め、短期的な支援のみならず、新型コロナウイルス感染症の世界的流行下で保健医療システムを強化するための中長期的な支援を通じ、国際機関及び地域機関と協力しつつ、太平洋島嶼国地域を支えていくとの決意を強調しました。

さらに、日本は、新型コロナウイルスによる経済困難への対応に向けて、また、より長期的な持続可能かつ包摂的な経済成長の達成に向けて、太平洋島嶼国を支援する意図を表明しました。

会議の中で、日本は、保健医療システム、経済回復、またインフラのニーズ支援を含め、PIF島嶼国による新型コロナウイルス感染症の課題への対応を支援するために、豪州、ニュージーランドや国連機関等のパートナーとも緊密に連携していることを強調しました。

さらに、参加した閣僚は、ポスト・コロナ時代において、安定した、強靱かつ繁栄した太平洋地域を共に構築していくことへのコミットメントを表明しました。このコミットメントを達成するため、参加各国は、PALM9に向けたプロセスの中で、多くの協力課題について議論を深めていく事になります。

終わりに、日本は、今年の夏、サモアの国家代表選手と役員の皆様を日本にお迎え出来るよう、安全・安心を最優先とする東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて着実に準備を進めていることを強調したく存じます。「日本はサモアの皆さんと共にある」という言葉で私のメッセージを締めくくりたいと思います。

Fa' afetai lava. Soifua (サモア語)

(了)